

NEWS しっかり市民派・ ずっと無党派 未来にまっすぐ



吹田市議会議員いけぶち佐知子

ブログ「未来にまっすぐ」<http://blog.goo.ne.jp/gogonet21>
いけぶち佐知子事務所 〒565-0851 吹田市千里山西5-2-5 アクネビル
TEL/FAX 06-4861-7418 ikebuchi@office.email.ne.jp

2012年 5月号

特別職報酬等審議会

4月10日(火)10時から12時まで審議会が開かれ、議会から9会派から9人の議員が出席しました。

前回の審議会で、委員さんたちから、議員報酬や政務調査費については議会事務局から資料やデータが出ているが、実際の議員活動のこと、政務調査費の使い方などを直接尋ねたいということがあり、今回の出席となりました。

いけぶちの場合は、ブログで議員活動のことを書き、議員報酬や政務調査費については、すいた市民自治のHPに掲載していますので、それをご覧いただければ大体のことはお分かりになると思いましたが、他の会派議員が結構詳しく話していたので、私からも基本的なことだけは話しました。

議員報酬の使い道については、36人議員それぞれ違うと思います。なぜなら、私のように結婚

して夫が仕事を持っている人もいれば、独身の方もいますし、議員報酬以外に収入がある人もいますので、おのずと違って来るはずですよ。

また、政務調査費については、各会派とも形式は違っても議会活動の報告のための通信を政務調査費を使って発行していますが、それ以外のお金をどのように使っているかは、会派人数にも大きく影響しています。

たとえば、通信発行・配布に政務調査費の大半を使うので、それ以外にはほとんど使っていない(使えない)会派もあれば、会派全体で視察・研修・調査に何百万円かを使っているところもあり、正直、驚きました。

議員からある程度の説明をしたのち、審議会委員からの質問に答えていきましたが、結局のところ、「(議会制)民主主義のコストをどう考えるか?」「どこまで市民がコスト負担できるか?」ということになると思います。(裏面へ続く)

いけぶち佐知子 プロフィール

- 1957年 和歌山県の紀の川や万葉集にある妹山背山の近くで生まれました。3人姉妹の真ん中。小さいころから手のかからない子どもでした
 - 1975年 和歌山県立笠田高等学校卒業(幼稚園から高校まで笠田で過ごす)
 - 1979年 国立大阪大学薬学部製薬化学科卒業。製薬会社勤務
 - 1982年 退社。以来、在宅勤務(医薬文献調査)
 - 1992年 吹田市立女性センターの講座マニアに。女性問題や編集講座など能力開発講座を受講。在宅勤務(テーブルライト)
 - 1994年 吹田市立女性センターに再就職(非常勤)。約80倍の難関突破!! 講座の企画運営を行う。大学通信課程で社会教育主事資格取得
 - 1999年 吹田市議会議員選挙に初挑戦。2,764票 19位当選
- 以来、2003年、2007年、2011年、連続4回、吹田市議会議員選挙当選

いけぶち佐知子事務所 千里山まちかどサロン



月～金 10時～15時
お気軽にお越しください。

いけぶち 活動日誌 2012年3月(抜粋)

1日(木) 本会議(提案説明) アジェンダ21すいた幹事会定例会議 2日(金) 大阪大学薬学部田中教授退任記念祝賀会 3日(土) いけぶち佐知子応援団幹事会 4日(日) 市民塾活動発表会 6日(火) いけぶち佐知子応援団ニュース編集会議 8日(木) 本会議(代表質問) 9日(金) 本会議(代表質問・質問) 10日(土) 女性薬剤師の桜草フォーラム 12日(月) 本会議(質問)、議会運営委員会	13日(火) 本会議(質問) 14日(水) 財政総務委員会 (15、16、19、21、22日) 23日(金) 議会運営委員会 26日(月) 本会議(討論、採決) 27日(火) 大阪府選挙管理委員会へ書類提出 日本公認会計士協会近畿会研修へ参加 29日(木) グリーンサロン 30日(金) 地区福祉委員会館外昼食会(彦根市) 31日(土) 議会改革研修会(奈良市)
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

いけぶち議員報酬 会計報告(2012年 3月)

議員報酬 *1	650,000	所得税・住民税	116,800
審議会報酬	0	共済掛金・互助会費	6,500
		国保・年金 *2	50,000
前期から繰入	961,958	事務所関係費(人件費含む)	98,960
*1 月650千円×1ヵ月=650千円		いけぶち佐知子応援団	100,000
*2 月50千円×1(3月)=50千円		交通費	5,820
*3 月250千円×1ヵ月=250千円		通信費	9,066
		研究研修費・資料購入費	0
		広報費	0
		諸会費・交際費	56,570
		生活費 *3	250,000
		次期へ繰越	918,242
収入計	1,611,958	支出計	1,611,958

(表面からの続き)

また、審議会の中でも発言しましたが、私は、今の報酬でできる限り、精いっぱい活動していますが、もし報酬が下がれば、それだけ活動できる範囲が狭まることもあり得ます。なぜなら、議員も霞を食べて生きているわけではありません。

ほかに収入がなければ、衣食住にかかる経費は議員報酬から使うしかありません。そして、議員活動を一所懸命しようと思えばするほど、議員活動以外のことに使う時間が無くなります。

また、移動しようと思えば交通費も要りますし、市政相談のための通信費も要りますし、私のように事務所を持っていれば家賃や人件費もかかります。また、当然のことながら研修、研鑽のための費用もかかります。

「税金を使ってまで研鑽しなければならない議員ではなく、議員としての知識見識の完成した人が議員になってほしい」という委員からの発言

もありました。

しかし、たとえ完成した議員であったとしても、制度が変わり、社会情勢も変わる中で議員の仕事をするためには、日々の研鑽は絶対に必要だと思います。また、今の選挙制度では、議員としての知識見識を持った人だけが立候補できるのでも、当選するのでもありません。

高い報酬もらって、何をしているかわからない。選挙の時しか顔も見せない。それなら報酬を下げたらいいじゃない。というような話ではなくて、高い報酬ならその高い報酬に見合った仕事をしなさいよ。市民がチェックしていますよ。ということではないのでしょうか。

このようなことを考えた、審議会出席でした。

なお、審議会の議事録は整い次第、公開されますので、ぜひ、ご覧ください。